

HSK

会報「石川守る会」

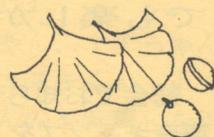
No.47

石川県重症心身障害児(者)を守る会  
全国重症心身障害児(者)を守る会  
石川県支部 会長 山本 衛

秋まただ中の今日このごろ急に寒くなってきましたね。会員の皆様方、お子様達はお変わりないでしょうか。今冬はいつものインフルエンザに加えて新型インフルエンザの流行も懸念されています。障害の重い子ども達への感染だけは避けたいものです。回りの私たちの注意が大切です。

さて、政権交代に伴って「障害者自立支援法」の廃止も言われていますがまだスケジュールなどははっきりしていません。子ども達の命や生活が脅かされることのないよう今後の動きを見守っていきたいと思います。

少し気取って ホテルで昼食会



8月30日ANAクラウンプラザホテルの19階で昼食会が開催されました。すばらしく見晴らしのよいレストランでちょっとお洒落なランチタイムを過ごしました。当日は会員・賛助会員を含めて26名のみなさんの参加がありました。

おいしい食事と楽しい会話で盛り上がり、みなさん久しぶりにゆったりとした時間を過ごすことができましたようす。

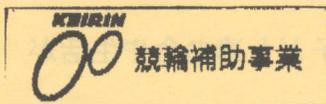
やはり、気心の知れた人たちとの交流がホッとできますね。



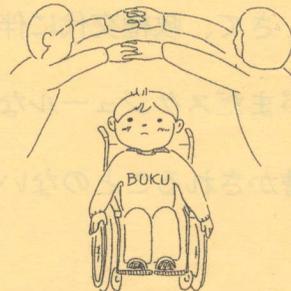
第1回「成年後見制度」に関する学習会開催

9月27日NPO支援センター（広坂）の会議室で第1回目の「成年後見制度」の学習会を開きました。当日は19名の方々に参加していただきました。まず、山本会長から「成年後見とは何ぞや？」との質問に答える形で制度そのものの概要についての説明がありました。後見人の役割には「①財産管理」と「②身上監護」があり、①については内容も明確になっていてチェックもかなり厳しく行われているようです。②についてはまだまだ内容もあいまいでチェック機能も十分ではないようです。このことについては今後親や保護者が望むことは何か、また施設がどのようなことを希望しているのかみんなを出し合いながら具体的に話し合っていくことが重要だと思われます。さらに後見人になっていただく方の重症心身障害児（者）②に対する認識を高めていただくことも必要だと考えられます。

参加者からは「年金の手続きに行ったら後見人の話をされた」とか「まだ先のことだと思っていたが勉強していきたい」などの意見が出されました。今後の学習会の進め方については推進委員会を設置して話し合っていくこととしました。全国でもいろいろな方式を取り入れているようなので、それも参考にしながら子ども達が元気で楽しく過ごすことができ、親たちも安心して託せるような支え合いの体制が出来ることをめざして勸めていきたいと思えます。



ハラハラ！ドキドキ！  
でも楽しかった 療育キャンプ！



総会でお知らせしたように10/31～11/1本部からの補助を受けて集団療育キャンプを「かんぽの郷 尾口」開催しました。

今年は新型インフルエンザの流行というアクシデントもあって開催当日まで「病院の人たちが参加できない」「ボランティアさんが発熱」「参加予定の親子が発熱」などいろいろな出来事がおこりました。

10月31日は秋晴れで気温も高くとても気持ちのよい日となり、少し参加者は減りましたが無事開催することが出来ました。

保護者のみなさんがこの日に向けて子ども達の体調を管理して下さったのと医王病院からお医者さんをはじめとするスタッフのご協力をいただいたおかげと感謝しています。

当日はまず医王病院の大野先生から「自分を知ろう」というテーマでお話をしていただきました。まずエゴグラムで自分の性格に合っていると思う項目を自分でチェックすることから始まりました。

その後の診断や先生のお話でそれぞれ思い当たることがあったりなかったりと自分を見つめ直す機会となりました。

### 久しぶりのプール！ 気持ちよかった温泉！

ボランティアさん、スタッフ、参加者の顔合わせをして1日目のメインイベントプール&入浴タイムになりました。

当日はかんぼの郷さんのご厚意でプールの水温を少し高めにいただきました。カオリちゃんとマナちゃんの女子チームとタロウくんがプール遊びをすることになりました。マナちゃんは微熱があったのですが先生の指示で「プールは大丈夫」とのことで遊べることになりました。ボランティアさんに支えてもらったり、浮き輪に入ったりしてプールを何周も回り久しぶりの水遊びを楽しみました。

大きな目ヲキラキラさせてうれしそうなカオリちゃん！みんなに抱かれて窮屈そうだったマナちゃんも浮き輪に入るとリラックスしてホッとした笑顔！プール中我が物顔で学生さん達と大はしゃぎのタロウくん！その後広くて暖かいお風呂でみんなに磨いてもらってぴかぴかになりました。

プールには入れなかったみんなもすぐお風呂に直行したミッチャン、ボランティアさんと散歩に出たソウちゃんとカズキくん、お部屋で安静を保ったユウくん、しっかりお昼寝をしたダイちゃんなどそれぞれの体調に合わせて過ごしました。



### 大笑いした 夕食・懇親会



お部屋でしばらく休憩した後お待ちかねの夕食と懇親会が始まりました。

山本会長のあいさつ、大野先生の乾杯の音頭もそこそこにすっかり仲良くなった学生さん達と同じテーブルで交流しながらの食事です。話してみると子ども達と学生さん達はほぼ同年代とのことで親密感がさらに増したことです。

特別メニューを用意してもらってご機嫌のダイちゃん、ミッチャン、マナちゃん、タロウくん、おいしそうな臭いを感じながら注入してもらったカズキくん、トシちゃん、ユウくん、ソウちゃん、注入だけでは足りずにお母さんの茶碗蒸しを平らげたカオリちゃん、みんな大満足です。

食事の途中で今回残念ながらお子さんは参加できなかったけれどスタッフとして参加してくださった松本さん山本さんが踊りを披露して下さいました。おふたりのあでやかな踊りにじっと見入る人、かけ声をかけて音頭を取ってくれる人などそれぞれに楽しむ姿が見られました。ありがとうございました。

その後お母さん達が準備された出し物に学生さんたちが乗って下さり、笑いの絶えない時間を過ごしました。

まず、さまざまなコスプレ衣装に着替えての「アブラハムの子」のおどりです。

かわいい！すてき！似合っている！きもちわるい！！などなど！！！！

次のゲームは「鬼のパンツ」の歌に合わせて強さをアピールするポーズをとったり、パンツをできるだけたくさん履くというゲームです。初めに学生さん達が挑戦して最高のは9枚ものパンツをはいたのです。2回目はお父さん達と大野先

生とタロウくんが頑張りました。結果は大野先生の勝ちでした。

みんなで大笑いのうちに楽しい懇親会を終えることが出来ました。

その後はそれぞれの部屋に戻ったのですが、興奮さめやらずなかなかねつけなかった人もいたようです。学生さん達はミーティングで今日の反省と明日の予定を話し合いました。障害のある人たちとの交流は初めての人もいて、戸惑いもあったようですが子ども達の笑顔とお母さん達の暖かい声かけでホッとしたようです。滅多にできない貴重な体験だったと思います。



## 2日目 もうおわかれ? 名残りおいしいね!!

2日目の朝は少し曇ってはいましたが11月にしてはとても暖かな日でした。

学生さん達は早めに朝食を済ませてみんなの起きてくるのを待っていましたが昨夜の夜更かしのせいなかなか目覚めなかったようです。それでもひとり、ふたりと食堂に現れお手伝いをしてもらいながら食事を済ませました。

お母さん達が荷物の片付けをする間学生さんと館内を散策する人や、おこづかいをもらって売店でおみやげを買う人もいました。チェックアウトをすませた後みんなは学生さん達と前の芝生に出て秋の風をかんじたり、手遊びをして楽しんでました。

お母さん達とスタッフで簡単なミーティングをしましたが、どのお母さんもお父さんも久しぶりにみんなで一泊旅行ができてよかったとの感想が話されました。大野先生は自分もよい経験をしたが、病院の若いお医者さん達にも体験させたいとの思いを語られました。大友先生からは学生にとってもよい体験になったと思うと話されました。山本会長からは行事が無事に終わった事への感謝と「もっとも弱い人を守る」という守る会の理念について説明がありました。また「もう少し暖かい時期にできないか」との意見も出され、検討課題となりました。

障害の重いお子さんといっしょだと一泊の旅行でもなかなか難しく、せっかく計画しても体調が悪くなるとあきらめざるを得ないこともあります。今回みんなが体調万全というわけではありませんでしたが、何とか無事に2日間過ごせてほんとうによかったと思います。

最後に全員でかんぼの郷の前で集合写真を撮って解散にしました。学生さん達にそれぞれの大荷物を運んでもらい、車に乗りましたが名残りは尽きず握手したり、声を掛け合ったりしてさようならをしました。

またいつかどこかで会えるといいですね。

参加して下さった親子のみなさん、色々お手伝い頂いた大野先生、吉田さん、新田さん、ボランティアの学生さん達、スタッフのみなさんありがとうございました。私たちのために色々配慮して下さったかんぼの郷尾口のみなさん本当にありがとうございました。援助していただいた財団法人JKAさんほんとうにありがとうございました。



参加された方々の感想文の抜粋です。



プールやお風呂には入れなかったけれどボランティアさんに外に連れていってもらってうれしそうでした。ボランティアさんも何も話せない子どもにどう接していいか悩まれたと思います。でも一緒にいる時間がもてて子どももうれしかったようです。親としても子どもと離れる時間が持ててよかったです。 母

学校を卒業してから集団で行動することがなかったのですが、久しぶりにこのような機会に参加できて有り難く思いました。若いボランティアさんと一緒に笑い、手を叩き、調子が悪かった息子の顔にも思わず笑顔！ 母



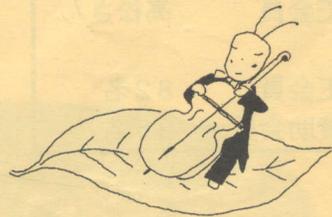
2日間マナちゃんと一緒に過ごして、私が話しかけると笑ってくれたときはとてもうれしかったです。お母さん達が食事などについても一人一人が色々工夫されているのを見たり聞いたりして感心しました。またお母さんに普段の接し方など話していただいて有り難く思いました。 ボ

今回ミッチちゃんの担当でしたが、はじめどのように接すればよいか不安でした。でも年齢も同じだったので身近に感じる事ができ、彼も「OK」のときは親指を立てて伝えてくれました。気持ちや感情を表すには色々な表現の方法があるんだということがわかりました。 ボ



最初のように援助すればいいのかわからず少し不安もありました。“その子の今の姿に友だちとして接する”ということ聞き不思議と不安が和らぎました。その子に楽しく接してみよう、メッセージを自分なりに受け止めてみようと思いました。少しの表情の変化や笑顔に接するととてもうれしい気持ちになりました。またお母さん方の子どもに対する大きな愛情とたくましさを感じることができました。今回本当にたくさんの大切なことを吸収させていただきました。 ボ

ギリギリまで色々な心配ばかりしていましたが、参加できて本当によかったです。私も日頃の雑事から解放され幸せな時間が持てました。ボランティアさんはとても熱心で細かく気遣って下さり、色々な話もできました。将来このような方が障害を持つ人たちと関わって下さると思うとうれしい気持ちになりました。 母



すてきな誕生日カード

ありがとう！

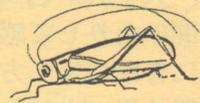
事業計画にもあるように会員のお子様  
誕生日カードを支部からお送りしています。  
先にお礼のお便りが届きました。  
現在松田さん、木下さんを中心にして在宅  
のお母さん達が毎月集まって相談しながらカ  
ードを手作りしてお送りしています。  
珠洲の大豊さんからお礼状を頂きました。



少しは涼しくなりました  
たがいつまでも落ち着  
かない気候ですね。  
今年もまた子どもの誕  
生祝いを頂きましてお  
礼を申し上げます。子ど  
もは七尾病院で元気に  
過ごしております。親の  
方が老化で頼りない状  
態です。

第2回「成年後見制度」の学習会を開催します。

日時 11月29日(日) 13:30～ (ディケア棟のエレベーターで5階まで  
行ってください。中病棟です。)  
場所 医王病院 地域医療研修室  
内容 後見制度について具体的な事例などを聞きながらすでに制度を利用し  
ている人やまだの人などそれぞれの思いも語り合ひましょう。  
疑問や質問も出し合ひましょう。  
多数の方の参加をお待ちしています。



お知らせ

・9月20日に産業展示館で開催された石川県障害者フェスティバルにバザー参  
加をしました。収益 43,790円でした。  
またその時におおとり会の東さんがくつしたを販売して下さり、収益は  
10,440円でした。会計に組み入れ有効に使わせていただきます。

計報 平成21年9月に会員山下辰美さんのご子息保之さんがお亡くなりにな  
りました。心よりご冥福をお祈りいたします。

会員の現況	
新入会員	
正会員	高松さん
正会員	82名
賛助会員	26名

編集人:	石川県重症心身障害児(者)を守る会
連絡先:	〒929-0123 石川県能美市中町ツ88-1 TE1(0761)56-0610
	会長 山本 衛
発行人:	北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉312番地
定価:	30円